

Web 及びローカルリソースを基盤とする新プラットフォームの開発

開発者：森口 宏一

Web 上のデータ並びに PC 上のローカルデータをシームレスに扱い、相互の連携を可能とするフレームワーク『**Deiee Platform**』

Deiee はデータフォーマットの変換・中継を行うミドルウェアとして機能する

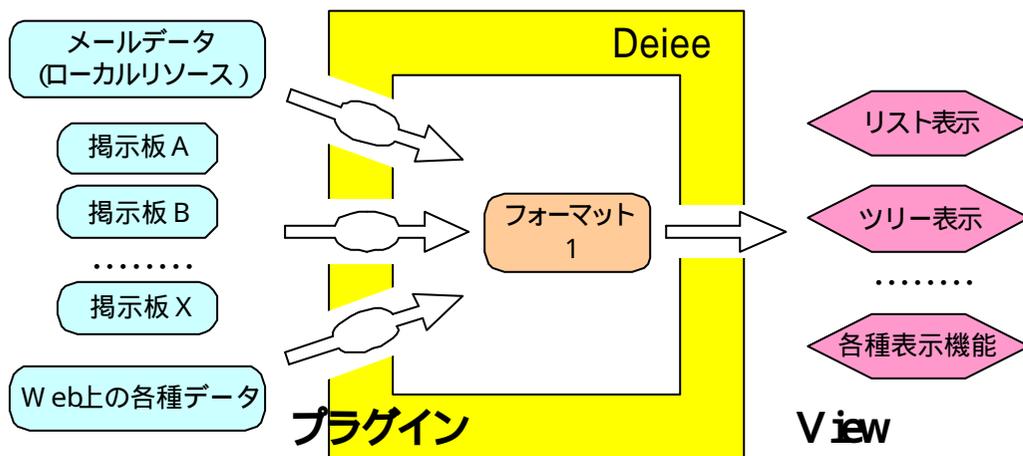


図 1 Deieeの概念図

- データリソースを意識することなく必要な情報にアクセス可能
- プラグインを介してユーザーの意図した形に変換できるため、Web コンテンツのより効果的な利用も可能

今後の課題

プラグイン

現在、サポートしているプラグインは5種。
引き続きプラグインの充実を図る。

リアルタイム処理

Deiee は、現在、リアルタイム処理に未対応。
実際にユーザーに使ってもらうためには、まず、
リアルタイム処理を実現する必要がある。

対応フォーマット

現在、RFC822 メッセージ形式の一種のみ。
早期に RSS (RDF Site Summary) 対応を実現。

動作環境

現行の Deiee は、独自ビューアと一体でユーザーの PC 上で動作する。

Deiee Proxy サーバーとして、ソース (オリジナル Web コンテンツ) からユーザーの求めるビュースタイルへの変換サービスを提供するといった方向への発展も。

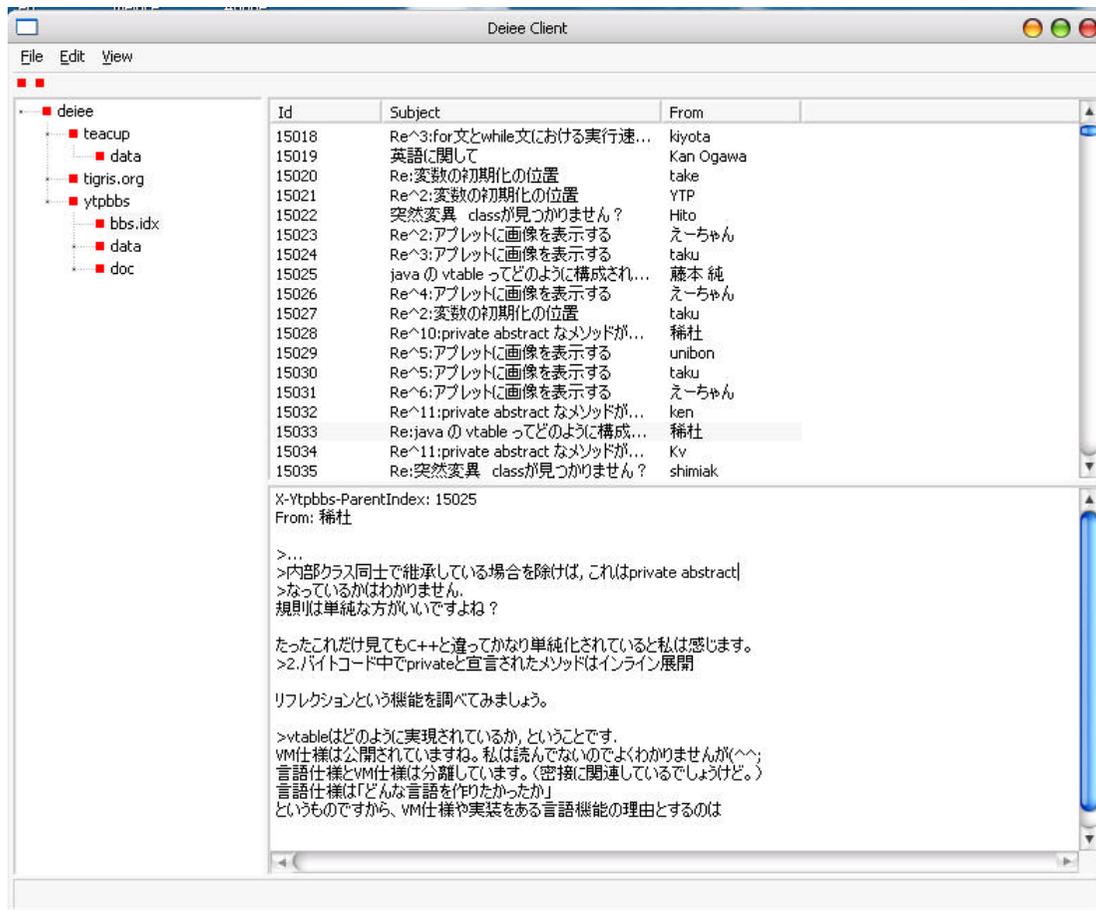


図2 整備した Deiee Platform